

# 待機児童ゼロってどういふこと？(2)

川崎市議会議員 末永 直

先月、待機児童ゼロ問題について書かせていただいた。問題なのは、2891人も本市に「保留児童」が

「市の保育施策で対応している児童数等」計1626人

「特定の保育所等を希望する申請者数」752人、「求



**末永直 プロフィール**  
 ○国立佐賀大学大学院 教育学研究科卒業  
 ○自民党参議院議員元秘書  
 ○昭和58年5月27日 34歳  
 ○政務活動事務所  
 〒211-0034 中原区井田中ノ町42-10  
 問合せ先 ☎044-789-5823

る。中原区の0歳児は、全区合計の約50%、1歳児は約38%、2歳児は約35%。ダントツだ。今後とも中原区には超重点区として保育所整備等行うよう要望したい。

政府は先日、新たに22万人分の保育の受け皿を整備する「子育て安心プラン」を発表した。0〜2歳児の

子を預かる「小規模保育」の普及を進めるなどとして、1、2歳児だけで年間5、1万人の受け皿確保を目指す方針だ。本プランは「都

園の賃借料への補助」や「国有地、都市公園、郵便局、学校等の余裕教室等の活用」など保育の受け皿拡大

約95%が1〜2歳児とな

1歳児9035人、2歳児3206人を合わせると1万6063人、各区合計は1万6833人であるから、

保育所等クラス年齢別・延べ待ち人数(平成29年3月30日調査時点)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	各区合計
川崎区	206	911	631	236	29	7	2,020
幸区	384	1,122	219	16	30	1	1,772
中原区	1,924	3,461	1,115	131	41	4	6,676
鶴見区	713	1,428	532	120	27	4	2,824
宮前区	123	947	275	50	12	10	1,417
多摩区	427	832	339	14	16	0	1,628
麻生区	45	334	95	15	5	2	496
全市計	3,822	9,035	3,206	582	160	28	16,833